


(様式)

常任委員会行政視察報告書

委員会名	経済建設常任委員会	委員名	江川 あや
視察地	出雲市		
調査事項	出雲農業未来の懸け橋事業及び新出雲農業チャレンジ事業について		
視察年月日	2025年11月19日(水)		
視察内容	<p>●目的</p> <p>上川百万石と言われるお米の産地であり、多種多様な野菜を育てる等、旭川市の一次産業は農業であると言えるが、中山間地域も多く、場所によっては様々な観点での支援も必要であると課題認識している。そのため、中山間地域も多い出雲市の農業を学び、例えば乾田直播等の先進的な事例も踏まえて先進事例を伺い、旭川市の農業政策の議論に活かすことを目的とする。</p> <p>●調査項目</p> <ol style="list-style-type: none">1. 出雲市の農業の特徴2. 農業支援の考え方3. ドローン乾田直播についての概要、行った経緯、成果4. その他特徴的な取組5. 現在の出雲市の農業の課題とその見通し  <p>●概要・所見</p> <p>現地での調査受け入れを模索したが、時間や距離的な関係で座学にて幅広い政策展開について伺うことができた。出雲市は、お米に加えて様々な農産物が栽培されており、中山間地域も多いことから旭川市の農業の政策に活かすことができる部分が多いと感じている。旧出雲市はそば、ブロッコリー、柿、いちじく、ねぎ、西浜いも等の栽培がなされ、ぶどうは早期集荷が特徴だったとのことで、農産物の一般的な旬の時期を少しずらすという付加価値のつけ方は市場をしっかりと捉えた考え方だと感じた。例えば付加価値のつけ方としては、ブランド化が解りやすく多く取り組まれる部分であるが、高付加価値である一方で、気候や鳥獣害等の被害が出た時には多くの金額補填が必要となる。そのため、その土地ならではの特徴を活かしながら出荷に対して付加価値をつけるという手法は、改めて旭川市に於いても取り入れることができるのではないかと感じた。例えば最近見るようになった「梅」や「さつま芋」などは、気候的にも本州よりも遅れる傾向がある。特に果樹類に関しては今後の鳥獣被害対策の動向を確認しつつ、同様の考え方での付加価値のつけ方をすることが有効ではないだろうか。また、細かく指定されており78か所の指定があるという中山間地域でもスマート農業がおこなわれている点が興味深かった。加えて研究会等に関する補助金等、農業従事者が当事者として政策を形作っている点に関しては大いに参考となる。</p> <p>農業の先進地としての出雲市を見る時、神話でヤマタノオロチと表現されたと言われる山並みと農村地域との調和を政策としてしっかりと活かしている点に感銘を受けた。</p>		

(様式)

常任委員会行政視察報告書

委員会名	経済建設常任委員会	委員名	江川 あや
視察地	鳥取市		
調査事項	鳥取市民体育館エネトピアアリーナについて		
視察年月日	2025年11月20日(水)		
視察内容	<p>●目的</p> <p>旭川市においては花咲スポーツ公園の整備が計画され、特にアリーナの整備手法に関しては様々な課題が出されている中であるため、近年、整備された鳥取市民体育館エネトピアアリーナの現地視察を行い、整備手法や最新の設備、運営手法等に関して今後の議論に活かすことを目標にする。</p> <p>●概要・所見</p> <p>鳥取市としては初めてのPFI事業だったとのことで、2回のサウンディング調査を経て行われたという丁寧さは、本市も取り入れる必要があったのではないかと感じた。サウンディング調査の目的である、自治体がやりたいことを明示し透明性の確保をすることや、格差を対話で調整していくことが必要という言葉には、大きく頷かされた。鳥取市は中核市の中では最も体育館が多いとのことであるが、市民が「スポーツをする」という点で必要な量を確保していくとのことで、市民の利用状況等を反映していくことの大切さを感じた。旭川市は冬もあり、地域面積が広大であることを考え、地域毎の移動に関しても考える必要があると思った。</p> <p>部活動の地域移行との関係性も興味深く、「するスポーツ」という点からも様々なスポーツのコートを見ることができた。フットサルやスケートボード、陸上のサブトラック、フィールド等、休日に軽く体を動かすという楽しみ方から本格的な練習まで、個別のマイナースポーツへの対応も可能であるという点は興味深かった。また、外に手洗い場があり、スポーツを行うと同時に、昼食を取ったりとしたレクリエーション活動への配慮も見ることができる。</p>		



(様式)

災害時の設備に関しても災害用トイレの設置がなされ、充実していた。



市民のスポーツ環境の充実を考える時、移動手段に関しても考える必要があると感じた。駐車場もしっかりと確保がされていたが、公共交通に関しても目の前にバス停があり、時間としても比較的確保がされていることが時刻表からも見て取れた。旭川市でも花咲スポーツ公園に関しては日中は比較的バスの便の良い場所であるが、例えば部活動の大会等では早朝の集合が必要となるため、大会等では公共交通を利用することができないという旭川市の現状も、合わせて考える必要があるのではないだろうか。体育館、アリーナ等を考える時、昨今の旭川市の気象状況を考えると冷房設備を整えた体育館の必要性は感じている所であるが、そういった視点でもエネルギー効率等を考えた建物が必要であろうと、視察を通して感じた。

(様式)

常任委員会行政視察報告書

委員会名	経済建設常任委員会	委員名	江川 あや
視察地	高槻市		
調査事項	安満遺跡公園について		
視察年月日	2025年11月21日(金)		

視察内容

●目的

旭川市においては、多くの公園が整備をしなければならない状況にあり、今後、様々な公園において遊具やその使用方法を含めて在り方を考えていかなければならないという課題を抱えている。そのため、歴史的な遺跡という条件の中で様々な活用が行われている当該公園の整備について学び、旭川市の公園整備等の在り方についての議論に活かしていくことを目的に、本視察を行った。

●調査項目



1. 安満遺跡公園の整備経過
2. 設置に至る経緯と市民合意の取り方
3. 整備手法とその検討経過
4. 整備に係るそれぞれの予算と決算の概要
5. 現状の課題と市民要望

●概要・所見

交通の便が良く、京都と大阪へは1時間以内で通勤が可能のため、「住む」という点に重点が置かれた政策形成が為されているように感じた。安満遺跡公園に接するようにして阪急電鉄とJR線の線路が敷かれており、遺跡等を活かしながら特色あるまちづくりをしている様子も理解できた。継体天皇陵や高山右近等の歴史的な部分から、藤井聡太棋士が所属する関西将棋会館の移転等からタイトル戦の誘致を行う、また、アイドルマスターのキャラクターに関する展示等、様々なコア層を取り込む工夫がなされていた。



アイドルマスターのファンミーティング等も行われるとのことで、多くの方が訪れるきっかけとなっており、市外からの需要も取り込んでいる様子が解る。

(様式)

高槻市は子育て支援も充実している印象があり、公園内においても様々な場所で何うことができた。若年やファミリー層向けのイベントも多く、全体を通して400を超えるイベントが行われているとのことで、イベントでの活用のしやすさに関しては、旭川市においても工夫をすべき点だと感じた。「市民と共に育て続ける」というポイントを押さえ、どのように使ってもらえるかというワークショップも行われているとのことで、プレーパークも行われているとのことで、場所等も拝見し、遊びがどのように作り出されるのかを想像することができた。例えば旭川市であれば、春夏秋冬の景色がはっきりとしているため、季節によっての特徴が出しやすいが、遺跡という「広場」での遊びはどのような展開になるのか興味深く感じた。公園の両脇を走るそれぞれの線路の電車もよく見え、子ども達が嬉しそうに手を振っている様子が見て取れた。貨物線の線路が見える所は珍しいので、楽しいだろうと思う。事業費の中には防災対策の部分も含まれているとのことで、災害時に後回しにされがちな「遊び」の確保としては重要な観点で、旭川市に於いても取り入れていきたいと思う。



全体として「遺跡」という特長から、「保存」という前提がしっかりしている点は、旭川市としての取り入れるべき点だと感じた。例えば、風の子館や旧タコ公園等は、その場所の特徴を捉えた遊具、遊びの環境整備であると思う。管理のしやすさという観点は重要であるが、デザイン都市旭川としてのアイデンティティを、こどもの遊びや育つ環境の中でどのように感じてもらうかということも重要であると感じる。最近の財源の確保として基本となっているネーミングライツやベンチや樹木の市民寄附等を行いつつ、旭川市としての方針を確立し、市民福祉の充実に向けて地域住民や、利用者等と活用方法から整備を考えていけたらよいのではないだろうか。